

# タイヤ・チューブ取扱上の注意

## 1. タイヤ・チューブ組み付け時の注意

⚠注意 (1) タイヤ・チューブに適合するリムサイズか確認してください。  
700C用リムでも幅が広いリムではタイヤが外れるおそれがあります。

\*推奨リム幅

タイヤ	リム（内幅）
23C	13～15mm
25C	13～17mm

- (2) タイヤのリムへのはめこみ作業がきつい場合、ドライバーなど角張ったものを使用すると、タイヤ・チューブを傷つけるおそれがあります。
- (3) リムバンドはリムのセンターにセットし、リム穴やニップル、スポーク先端を完全にカバーするように組み付けてください。リムバンドは高空気圧に耐えられるものを使用してください。
- (4) タイヤはリムへの組み付け前に内側を点検し、異物などがいないことを確認してください。
- (5) リムへの組み付け後、タイヤとリムの間にチューブをかみ込んでいないか確認してください。
- (6) タイヤに空気を入れる場合は、徐々に使用空気圧まで入れてください。
- (7) リムへの組み付け後は使用空気圧の状態でタイヤが均一に収まっているか、リムとタイヤのリムラインの間隔で確認してください。
- (8) リムへの組み付け時は、油やワックスなどは使用しないでください。

## 2. 走行前点検時の注意

- ⚠注意 (1) タイヤの空気圧はタイヤに表示された最大空気圧を超えて入れないでください。タイヤが外れるおそれがあります。
- (2) タイヤに釘やガラス片、その他突起物が刺さっていないか、油が付着していないか確認してください。異物を発見した時は全て取り除いてください。
- (3) ブレーキゴムがタイヤ側面に当たらないよう注意してください。

## 3. 走行時の注意

- ⚠注意 (1) 段差や突起物への乗り上げは、パンクしたり、タイヤやリムを損傷させる恐れがありますので避けてください。
- (2) 急ブレーキは偏磨耗につながりますので、非常時以外は避けてください。
- ⚠警告 (3) 積雪路及び凍結路での走行は事故につながりますので避けてください。
- (4) パンクした場合は事故や転倒の原因になりますので乗車は避けてください。
- (5) 雨天時は路面の摩擦力が低下しますので、スピードの出しすぎや、急なハンドル操作は避けてください。

## 4. 使用限度または交換時の注意

このタイヤ・チューブはレース用のため軽量であり、一般自転車のタイヤ・チューブに比べてゴムが非常に薄くつくられています。そのため、寿命も一般のタイヤ・チューブに比べて非常に短いので、取り扱いには十分注意してください。

次のような状態になったタイヤ・チューブは事故の原因につながるおそれがありますので、使用しないでください。

- ⚠注意 (1) タイヤ
- ・黄色いウエアインジケータ（磨耗限度表示）が一部でも見える場合。
  - ・極端な偏磨耗、段付き磨耗など、異常な磨耗があるもの。
  - ・カーカス（繊維）層に達する外傷及び亀裂の発生したもの。
  - ・カーカスの糸切れ、剥離及びビード部に損傷を起こしているもの。
- (2) チューブ
- ・傷、割れ、シワなどの異常のあるもの。
  - ・バルブに変形、亀裂、錆のあるもの。

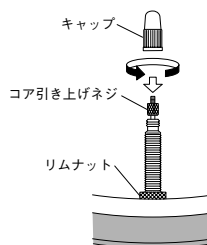
## 5. 保管時の注意

- ⚠注意 (1) 直射日光を避けてください。
- (2) 雨または水のかかる所をさけてください。
- (3) ストープその他の熱源に接近させないようにしてください。
- (4) 油類の多い所に接近させないようにしてください。
- (5) 電気火花の出る装置など、オゾンの発生しやすい所は避けてください。
- (6) 亀裂の原因になりますので、タイヤにシリコン系のワックスを塗らないでください。

# タイヤ・チューブ組み付け説明書

## 取り外し方

1. バルブのコア引き上げネジをゆるめて押し、空気を抜いてください。バルブのリムナットを外してください。



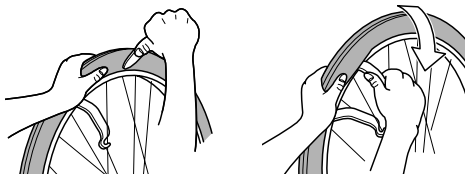
2. タイヤレバーをタイヤビード部とリムの隙間に差し込み、片側のタイヤビードをリムから外して、タイヤレバーをスポークに止めてください。

⚠注意 この時、チューブに傷をつけないように、タイヤビード部のみにタイヤレバーをかけてください。



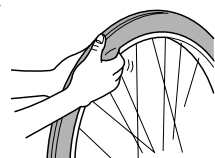
3. 外しかけたビードから少し離れたところに2本目のタイヤレバーを差し込んで、同様にタイヤビードを外して、タイヤレバーをスポークに止めます。この作業を繰り返します。

⚠注意 タイヤレバーでタイヤ・チューブを傷つけないように作業してください。

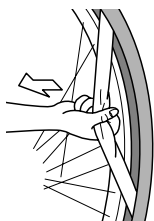


4. ある程度タイヤビードを外して、ビードの張りがゆるくなったら、タイヤレバーを使わずに、外したタイヤに指を差し込んでタイヤビードをリムから外してください。

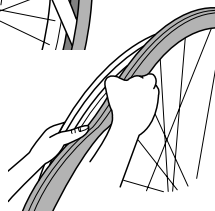
⚠注意 指を負傷しないように作業してください。



5. 片側のタイヤビードを全周外したら、バルブの部分を残してチューブを外してください。



6. 最後に、残った側のタイヤビードをバルブの反対側から外し、チューブのバルブをリムから外してください。



## 取り付け方

1. 作業しやすいように、チューブに少し空気を入れてください。

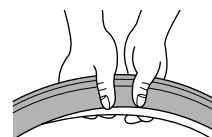


2. チューブのバルブをリムのバルブ穴に通し、片側のタイヤビードを全周リムにはめてください。



3. チューブを全周タイヤの中に入れてください。

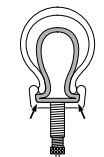
⚠注意 タイヤの中でチューブがねじれたり、折れたりしないように注意してください。



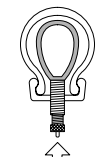
4. 残った側のタイヤビードを、バルブ側からリムにはめていってください。

⚠注意

- (1) バルブ部分のタイヤビードをはめこむ時は、チューブがタイヤとリムの間にはさまれないように、バルブ先端をタイヤ側へ押し、チューブをタイヤ内に逃がした状態でタイヤビードをリムにはめ込んでください。
- (2) タイヤビードでチューブをはさまないように注意して作業してください。
- (3) タイヤ・チューブ損傷防止のため、



×はさまった例



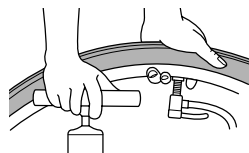
↑

○バルブを押す

5. タイヤを全周リムにはめたら、バルブがリムに対して傾いていないことを確認し、バルブのリムナットをバルブにねじ込んでください。

⚠注意 リムナットは工具を使わずに手で締め込んでください。

6. ポンプで空気を少し入れ、タイヤがリムに均一に収まっているか、またタイヤとリムの隙間にチューブをかみ込んでいないか、左右共、全周確認してください。(均一でなかったり、チューブをかみ込んでいる場合は、いったん空気を抜いて修正してください。)



7. 使用する空気圧まで空気を入れて、バルブのコア引き上げネジをしめ、キャップをしめてください。

空気圧は、乗員体重や使用状況により調整してください。

⚠注意 空気圧はタイヤに表示されている最大空気圧を超えて入れないでください。タイヤがリムから外れるおそれがあります。